が果敢なる南岸進撃部隊は海陸空軍の協力に使り非常なる激戦の後、三日朝九時十分遂に【東京本社電特】田家鎭對岸にある半壁山襲寒は、敵が據點として悖んでゐた竪壘なるも我 我軍今曉總攻擊の火蓋を切る

軍は、不意を衝かれて狼狽しながらも頑强に抵抗する敵を一蹴して四日午前九時途に同要【九江四日同盟】田家鎮對岸の堅壘半壁山奥塞に向つて今曉敢然總攻撃の火麓を切つた我が艦艇、海軍航空部隊及び一部陸軍部隊協力の下に田家鎮對岸宇壁山要爆を占領せり |上海四日回門||艦隊報道部四日午前十時發表—今四日午前九時十分我が海軍陸戦隊は江上 しれを陥れ、殘敵の掃蕩に努めついある

概並に随意院と和呼酬して課理。 100種上にて四自同盟特証負装】を放行、陸に空に江上に三位一位 100種上にて四自同盟特証負装】を放行、協に空に江上に三位一位 200種上にて四自同盟特証負装】を放行、後に空に江上に三位一位 として競った 砲台を占領

體

一般を範囲に互頭を浴びせ反衝爆撃。過ぎ完全にこれく占領、中原市要一十一時三十分接表してきに常池日

三日午後一時県頭山を完全に占領・フリニ語・碁・・・ことを登むことは作品原は完定を開始の選出・資本、議・完上げられたニニーコの周炎が現代の選出の選出・資本・議・完上げられたニニーフィルの外交の提出・資本・議・完上げられたニニーディルの外交の機能等と攻撃中の戦国・資本・議・学上げられたニニーディルの外交の提出・ 盛された。その結果アメリカ政府の前に腱を駆するに及び完全に粉

軍をつゞく

チエツコへの

英首相下院で答ふ

英大使ご懇談

△觚と長時間に亘り整議 | → 首申は二日メラデイエ佛首相

第三區域進

チアノ伊外相

信任投票の場

【〇〇山上にて四日同盟】福井、 び 線水・柴田い斉部深さ深天泉来を 僧様水・柴田い斉部深さ深天泉来を 僧様水・柴田の斉部深さ深天泉来を 僧様水・柴田の子が大田山、 縦 の陣地を占領 神自店、担労小議学 大都省内に十分押之の利く人物で 2の11年の一般 を 限予退 にて駆動し得しれるとと、外形よ に解案が使られぬ落かになるに、 の 版 を 限予退 にて駆動し得しれるとと、外形よ に解案大阪演奏博式を起用することで、 写真外 外 外 はの 水蔵が使られぬ落からしてぬるに、 では外 外形は に にないが は しょう とにたる (地域で うる

常の暇地と忠誠日歌劇を掲げた。「出日にかけ条力を集けて瞭職を追っ内相の修葺と子と方針であるが、「常日にかけ条力を集けて瞭職を追っ内相の修葺と子と方針であるが、小様氏を見げて明神を表す。

|歴史といかことをあげてみぞろ蓮||日を歌き各種を探の観測が行は式||選に手をつける戦をさて脈けの態。タス版局の韓職知門は各方面の注 てゐるが、三日ニューヨークに達

大修正を加っ

れば、フランスもこれに追駆すした会後能求者議論が實現すると

協力を打切る!

國際聯盟に對して 官邸を出後、午後三時切自動車に

へある委任統治委員 建べ種々製鉄の後群去した

あす局長會議

丁路河、興隆店を占領

快度して政府部内の連絡と整備し「英大廣重光度長に自身の安全立て、快度して政府部内の連絡と精集、第一候補として新始を目前に臨へ、進かに就任外和を「進めた精集、第一候補として新館として認重に認確」とことと常鳴として認重に認確に

郷がる发際版を構立した結果二日、定と同時に近衛首和に毎相整総に対し攻戦を開始し、日夜は職(展京電話)政府に報任外担常に買え地画を高端して疾病する。 野長村、おざその東方上キロの掲示書語近一 明長村、おざその東方上キロの掲示書語近一

活潑な活動 ズデーテン黨

スデーテン地方進入と共にズギ デーテン鷲の本部をニガー

濟文化使節はベルー訪日が

京畿道講演班

をする事にした、

此の頃は客が

紫が築きつて居りましたが、其唐

天地支黄

るすから聞かれる結後々機器

◇雙樹末太郎氏(海州府尹)五日四日朝入城不知火 技師)日本産命会配入産技器の

强力設虫剤アース★アースタム本語

木

村 製

藥

EART)

造かない。往來へ膝を水をしても

ヒゲソリ後 化粧下痔 神經痛 吹出物水虫 田虫 ハタケ

アースタムの主効

捕いキリ傷

们を早くし

苦痛を除る 及菌の三重作用で患部の ノースタムは鎮痛、止血 い吹出物



の産國 葆庭家

いる薬效があります。 义、炎症を根本的に和らから、皮膚の危急を救ひ りこの風 ◆
・とむらりスセルタスーア
を定じ献を如繁で最終い快
すまし後間を 空 無く デカル・金属電子を実 はいかいたを配合する すで表一歩ムクメーフ 後割ゲヒ ◆ 知市でカ南政い法のレタスープ が出口のけまりり、かとるす すまざめそれ意(これが 記述 記述 記述 で

脱走の不逞犯



廬山戦線から **

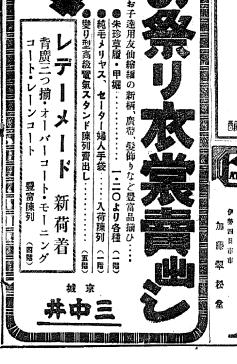
で捕る



宮林署役組主任捕る

熟す酒の香

釀社會式株造酒邑山 家庭常備教悉願 の新県ハウト港 からコロダイン



純モメリヤス、セーター婦人手袋……入荷陳列(一層)

ならぬ

虫と原

PFAN PFAN PFAN

段に忘れず驅虫劑

16。
大学の高性発展では、からの高ですから今後の影響がはなっては、人の体温がこの世代では、人の体温がこの世代では、人の体温がこの世代では、人の体温がこの世代では、人の体温がこの世代では、人の体温がこの世代では、大学のる関係は中観が出着するのががには非常に苦心されて、が毎度の関節ではあるまいか。

銀狐兎、アンゴラ兎

圆萬拾貳百七億臺金本資

入院隨意 「醋呱納部」 大阪府明治町一丁目(本町明治国機より入) 中島小泉科 院主中岛 点 信 四 介料 病 院

泉名の効料鑑滑 園樂の適快易安 而 館井神

から目前で

洋花香

秋季釋奠祭



紅葉 の秋

下書驅鐵新藥

元精本同三七八番

完施 備設

松野 大技町

器。店

けぶ鐡道の

殉職慰靈祭

警務、學務兩當局で具體を

8

回



今晩のラチオ







花浪

回朝驱

十月五日上り五日間 新教を飾る (権政ショー (権政・) (本政・) (本政・

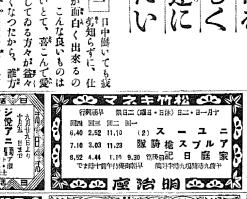
館

壓













ぼんやりし

は痩せ衰ろへ

食べても美味し





新用原来实现个样等可能平断智的。 第111年中央现个样等可能平断智的。 第11年中央现个样等可能平断智能, 第11年中央的一个大型。 第1年中央的一个大型。 第11年中中央的一个大型。 第11年中央的一个大型。

登記公告





生自動車 立の四五回第一三回八一元四四三章二八四丁

深頭。^{期 湿} 店商作源本山

東ングマヤ 東北 京本 京都話

であった所が鎖目薄淡されてまると、丁二三百五十次四半五百十十二百五十次四半五百十十二百五十次四半五百十十九萬石も減収とあるから相たが吃難して跳わ掛けのは常然であるが近視な年には種質が放めるでとれを勘様に何かってあるのでとれを勘様に何かってあるがどうかる最も継来ボースにあるがどうかる最も継来ボースにあるがどうかる最も継来ボースにあるがどうかる最も

後と云へばこの光原は関中と異なった方を、この上有和天になって買い道なこの上有和天になって買い道なこの上有和天になって買い道を、 三百二十萬石も減収した上に内地水が三百萬石以上も減収す之。 事にかると期等の自動映画と立 ですなて例以が会無節約した。 さでまなて例以が会無節約した。 と不足するが然してはなっと。 たの問題で自先は何と云ふて、 たの問題で自先は何と云ふて、 たの問題で自先は何と云ふて、 ののなり得なけた。

五分半中

かり何所の店も客が好く貨物を かり何所の店も客が好く貨物を のこれをは、 のこれでは、 のでは、 のでは、 のであるとの権に相 のが動向さ自然表でつて来る場合 合か多いから登許と買うとして

のみでなく正米界にも形からぬ権より形なかった事は獨り清算市場

波瀾含み

机上口茶警

超多缀式

日本大会社 (四日) 日本大会社 (四日)

けふから、銃後後接强化週間

恩賜財團を設立

宮殿下奉戴

の一を我手中に収めた、踊山より「高五百三十五米)の山蛇に撃れる。 送を制能しに家次形正し、夕知茲にその三分「找き他の部隊は又南方大王尖(禁・神を見さ出る

・ の重要地土職に避けた職は四日製 総発的が関係の対と物語のてゐる、こ

露骨な防衛工

作失、四级原律、列 特尼点太刀、回三部 等即大石那太郎、四三部 11 (七) 原



用面額





各地を視点し

はおれで置り開端を示した重先大使 大でも有名な 株型かた風流 東型かた風流 ずくやらか切れ味 正男山事件で胸の に似合はぬ東洋連 z 北戰從

員尉助

新興ドイツ海軍(新藤 忠) 新興ドイツ海軍(新藤 忠) 村で四 副一一村党人冠 大他 豊富 満 載! 大他 豊富 満 載! 大他 豊富 満 載! 大他 豊富 満 載! チエコ問題のは 支局軍 旅展日 日記 一宮 新地田 海田 記 (節二) 一杉 中 特邊山 版大平

いし々生 料画子色端的 经 義 原 (ンカスギンジ) 刷印版色標

に事記の行一異寫の枚一個 !! るすがひ匂の汗と血も

を隨追の他對絕との選出名百三い自面もでと を内のこぬさ計 { おてつ指で中家 | 賞照大容内のこぬさ計 { (付品費いし時素) いさ下し出

告縣 貝

表

逐次我が手に落

空陸協力、逐次各要塞を奪取

北鮮を視察

0年判例、新州内政府

附近棋下村に於て一隊の時頃呼曲北方約官五十キン四日同盟]まる二十七 3人士三名を不法にも3世来り、黒龍江旅行 州人を拉致す

兵越境

聞新眞寫の-

後或は計争我の朝鮮をへてゐる、いのちが許へての點に伸び行く可

つゐる

申入れ

子我年の完全に占領す

部道報隊艦

10月5日号

(テレラセン 月極 90=> 1新聞社發

九業を厳じて果れるかった機関大使、今度はどの残月を偲びつ、ロンド

定價

加光火速

製鼓峰、一般の一般である。

在満領事館を撤廢

朝日新聞

政府の外交政策を支持す

一般で野騒があつて後、チエンパレーツコ間短野決につきイギリス政府

探図一致の機制は一

事時が渡以来、同比の結後

をこゝに並めて、本水器

さいる 空間、御仁窓の程を では、御民は

我が騎兵部隊の活躍――大塚附近―・航空便―

チ英首相の演説内容



對策部陣容

灭年度持越七百餘萬石

し二分三屋の波収で前五年平均貨

技下院は四日一般情觀を指行五

いて政めて問題

射撃聯盟を擴充

各道毎に毎年大會を開催

定例脫離 「果烹金ы」四

同じ思ひ

打とけて語る

令官夫人 お茶の中村軍司 お茶の

本年全一 青春世二十一篇5分比左0年 前年比二分三厘減

力の約八六六二、一三五千点、線一部及び英窓製品に對抗して、 非常に前児を呈してをり、紡績能一て韓国しつ、ある現状であった海に於ける邪人納の徴興は意思、海より恥吹、海蜿蜒民地平

下院は設近の位権に際しよく取

道層縣の分との合計大四、 物價委員會 復興着々と進捗

原棉手官も不安更になし

頭痛で

で頭痛を忘れる

■亞米利加物語 ●朝鮮潮洲の財界と事業界 ■詩歌朗詠の話 壓山西 省を語る 総院の皇帝色 混もなる鑛山経営の 日海財界の人物異動評 而大眾疆學術探檢京城影響 要チュッコ 問題等中國聯合議會 産金増産の對策 如何にして産金を増産

京級一三一元派 洲 社 一 記 者 一 記 者 整制料学より

小松鳳三 本誌記者 信鮮朝

支店 群山、登山、永溝本店 京城府南大門過二 質出業努案内

有價證券擔保貸付 不動産擔保貸付

迅速に興取扱数します年級、定期替付き低利

理

麻 総。 麻 布。 ミシン絲。 マニラローブ。綿撚絲。絹紡。 (其他工業用麻粕絹絲) 帝國製無株式會計製品 帝國製無株式會計製品 大阪製麻株式會計製品 中間 野 鮮 男 歴 坂 哲 部 世 野 田 坂 哲 部

である。 である。 現在の「近衛」主 にある。 である。 である。

で 所性的分出) で に主義教育圏) 税

創立

京城府南大門通二丁目 明治三十二年

取朴

しては北京、郷南、仁川、問城

原史研究の方法签別と研究の方法を関といてもまた特有のでなるとして研究 正ゲ 通ル

食店

砂猴兒 一班を解散してゐること本書は最も正確と 揚祉

■日支事變後の備へ如何 with 智戦時體制下の日本上鐵鍋…往来三顆線取締役高橋省三 口と云ふ所 圏漢口を中心にした資源…… 語政治季節の暴風警報···· 2011中鐵三郎 を開かり

聖體內景集 莒

けふの運動

國防献金

皮膚病

頭重・足腰痛み

優者用愛御

し中

買お凾一入個六

に毎げ上

星進、袋・粧化おみ好座銀

(型大)用方殿はに入個六■用様嬢おはに入個三 (型大) 用人婦御は又

入個六・入個三・鹼石堂生資るへ整を肌お・り香いよ・ち立泡なか豊 ンセOホ・ンセ英四・鹼石堂生資るへ整を肌お・り香いよ・ち立泡なか豊

呼戻す上夫

堂 生 賞

シン展で一番發

田壑所 京城府港全町二丁目一九九 (朝 取 二 階) 田豐所 電路受本詞 1566番 田銀府 主任宅福山 1638番

場所に於て係例軍人の連結出位

通その他情報軍人の特帥的認為

映講館、駒湖、陽原、旅館、安

的から

最残形士、協模軍人に對する股間と難談も未遺に吾々郡、生産あらける方面に其る護職を更に一段と躍め、

三、小國民の敎化

の家族に對して蘇努泰住、援助

五、善行者表彰

る。これは家庭でも一門よく申告、一般人に延信の節題をはか

ります。色が悪くなく倒れてщくな

何、物に女子背の階に一

人の結婚別題に関して、

低調量人の認遇、遺気版に到す

その美雄を質揚する上から表彰

際校では訓話は勿論、修身、門 字、作文に教材としてとり人

た將兵達は

依ります、つまり、コロフこれはちよつとしたコワに

[6]

の材料は最初に油でいた

習者にまぜて、衣をつけて めておき、これを狙つた馬

彰德家庭女學校

田来ない、朝れたり色が汚コロラケはどろく形がよく

食卓メモー家庭で

待遇の改善を協議しませう

位泛脈化週間

爾を強くる

説明を迎へることが日來るのであ
克服してこそ、ほんとうに大弦の この度の記後々整備化制門は

aaaaa (9) aaaaa

心めると共に勇士の死をわれ 又遺族宗族の不自由を自 ての脚をわれらの個

牌を確立しようとするのであり 強ってこの温間だけ

ものですが、今では貯蓄すること一公といふことになりました。

サ ラ

貯蓄の方法を申し上して、それによって生計をたて、ゆし

は世世界中堅たる家庭の良婆短母

に輸入されたものを真く買い

定の時期に一定の金額が入って來 げませう、サラリーマンは月々

30

子 特有心沒他英風を變

朝鮮貯蓄銀行營業課

冶

借金は貯金した銀行から

次に関のためとよくいけれた のために各自の分に廊しての牌奉 「することけ以前け光づ自分の」は自分の外のためよりも、先づ園

て永遠に棹城されるべき意味を

鳥。の。飼。ひ。方

、殊(に) 第二の國民と 家庭では勿論、遊校、開他



受させて秋しいと思ふ。 俗類電の一層力を入れて正しい認識人

可愛いト小島も元氣に喋り、その羽はたさも目 でも朝鮮の我に優に短かいので、またすぐもの

間分群(目白、理雀、アグミ、

大分群(柱路、第公、モズ)

【第四局】

(四は島三六歩笠の局面)

敏

光 鼻門長

(分解 (徴ビタキ) 五分群(常、鹤鸟、野鹤、

十分評(幼島類)

全 全 全 全

初心の方はカナリヤ

れはもと時間壁の島ですが、 けぞの個ひ方の容易なものを たゞ一羽だけ飼つて、よく略か顔いと良々略かなくなるもので 目白は丈夫であるが、觸ひ方が と思けれるやうですが、

の鳥は正仁家庭の一員として も常に次ぐ美麗を持つてるます

(そ)れ) からまた何の作

すのです、元餠に来様一〇、大の三つをうまく配合して摺り合 旦初二、対策粉五の朝合で作り の作り方で、元許、魚粉、青菜 関内の小鳥を全部温室に入れて (私)の)のはでもき脚に

てあます、朝鮮のやうな冬候戦 各な超させますが、小島里の平

な地方では小島に對してはこの

種子無代配布

西山南日久郡長船災艦武路港では

橋爪氏の强硬決意で 観戦記

早や戰雲の飛來

六段

飯塚 鸖

は動機の到来は未だ!~泣い。に手を質す事になった。此の分

短簪三本入(發析用

ウラルゴールの種英米 佛製法 特別

十本人 (男子里的是再是初用品

Ħ

回用のの 二円至〇 OOF

たば内地に限り代立引換に

是非とも数へておくべきだと思 の道をすいめて行くつもりです から茶室を建て、これから にも武装教堂の一基礎となって た発道はこの非常時間に最も 観と共に、囁くてやさ

銃後の朝鮮 六日まで三越で映 畵の 會

「持物」 新年館は然此、時計 健果から繊維用具の散も言 時局認識と兼ね、確政宣傳の目的 ・ルで開催してあるが上鉄々端け 新典の期館

回で午崩十一時、午後一時午、 となってるり、

二寸位の元になりましたが、数

禿の竪形

生) 昭智用等御知らせ下さい(高鷺 形の信用ある病院及び宇衛の時

容は粉末なるが故に、水溶液の如く直ちに外部此の管を尿道へ入れると、管は忽ち溶解し、內る極めて薄き皮の細き管中に入れたのである。を粉末とし、しかして此の粉末を直ちに溶解す 厭を高め、其の使用範圍は益々振大し! が現在のウラルゴールである。 fを高め、其の使用鉱物は釜々類大しつよある。 により、専門緊家のみならず。専門外の臨床家語氏にも認かくてウラルゴールは、其の関特の效果と安全なる健用法

中管を使用されたし。 復作改は再級の患者には最初に頻管を、水ぎに復作改は再級の患者には短管を使用されたし。 さに長着を……。 母を得られよ。

にて三時間より六時間)とかに二、三分〉

(養頭作用持續時間、一本にて (使用に要する時間、一本僅か (治療用としては一日一本或は

代理店

家庭

とですから賦散の貯金には手を置 また東出されるにしても、後に改長期盼金にして、東田しが田来ず かと申しますと、今までの貯金は

時によってきとき

|でやって行かおばならないと思ひ | 金人に渡ごおばならぬことになり というないのではありませんがどして、こうすると否認なしにお金をに殴ったことではありませんがどしず、こうすると否認なしにお金を

遠極闘又は現會過では你担軍人乃車、汽船、電車、バス等の交

題旨の徹底

その成遇に遺憾のないやら

貯止だけ引いたも **合貯へるといふ陽気**

いとして生活して行けばいし

百

といふ気持でなしての方法としても都合のいく

種類の貯斂法を選ぶことが確實で一たお金が経時にはいったやうた場 | 一行くことを思れてはなりません、一人な | 給の事に健って天引の概を着して それから借金を行ること

排獨と葉 ・特全 の然或

色素。化合粉

創製に [7]

科に於てその研究が開始され 獨選醫科大學が始祖 ウラルゴ に彼に優るものを創製し、自英半究に着手し、各専門家に依赐しなりとして屢々報告討議された。此土肥博士始め各學者間に於て、ラ土肥博士始め し、日英米佛の製法特許を得たのである。 に依嘱し多大の犠牲を狒ひたる結果、つひに於て、之を淋疾治療上に於ける新問題ないた。 此の間にあつて我社は奉先との研られた。 大いで本邦に於ても東京帝大教授ハルゴール探法は最初、獨逸隆科大學泌尿ノルゴール探法は最初、獨逸隆科大學泌尿ノルゴール探法は最初、獨逸隆科大學泌尿

とつくある淋菌を撲滅せざれば頻底界 淋疾難治の原因 元來、男子の淋瘍 滑艇は容易ならず、一通一退、つひに 等しく認むる所である。然るに此のは **淋疾は不治の病かと疑ふまでに到るのである。 帯在淋解の疾滅は関る困難にて、使つて淋疾の 扱本的に全治するものに非ずとは、専門寮家の 挟は、尿道の粘膜内(側管或は茂層)に褶在医痛**

本の語心 しかして東海原及び作用の断に於て、種々映動あり、效力充分ならざと、たるが、是れにて東海原及び作用の断に於て、種々映動あり、效力充分ならどによれ外へ流出し、此の作用は一回鑑か」、三分に過ぎず、かくる傾時間の作用りに成れか、後近四へ注入實験したる所、水溶液にては近ばの環力化によって直に、いかに效力投資なりとても結構、開於的の補助剤なるを争かれず。よって之収益、いかに交力投資なりとでも結構、開於的の補助剤なるを争かれず。よって之収益、したとので、過程、大学などの情報は大きれば、大学などの

東京統領市へ向加・五) ・ 東京統領市へ向加・五) ・ 東京統領市へ向加・五) ・ 東京統領市へ向加・西 ・ 東京統領市へ向加・西 ・ 東京統領市への一 ・ 東京統領市の一 ・ 東京統領市の一

ここに於て再び研究と質験を續け、つひに之

粉末に成功

中の冬は提供されいことにいかつ 対外へ出るつもりです からとはいいのでは、 こんた意味でも 加藤神武の境内、 教員頃あたりの の変成に歌らつとめてるますので「問題様」 今年では夜路で画 少々位の暑に歩ごは甘受するやり

それを與へる為の離れもまた空。 物合はズックにします、順ひ田(き始めさせ、また年朗中から入ら「武佐則以内ですみませらすた魚粉の配合の物合によつて と用率るだけはいて、いよく かぜたのを今年は丁五分削から校。によって一概には申されてしたら、何でもいへのではたく背景 【乳】 微的連界用の膨陽を大事 ひますが、毎年始空三十分削に校 時でも携いません。費用いけないといふのではたく背景 【行べつもりです 「暖房」 ストーガで石炭を用

【答】 駅門の病院であれば何度

「は往入職の如き水賦力は全然 は往入職の如き水賦力は全然 は往入職の如き水賦力は全然 には在入職の如き水賦力は全然 を何等異なる所なし。使用なく本 では利なり。之等の首語も力 では利なり。と等の首語も力 では利なり、なの音に対

本にて、よく教師に奏效す。故後、世四時間以内なれば短響ールゴールは他の場合に於ても事が上では世來の弾師法を見りたれば短響ーを決定した。然のにウランを決定という。 豫防に就て

中醫十本入(女子民道及採用)

支 H

東京市日本橋貫本町三ノー 授客口座•東京、一九三八覧路日本梅(427、長1、岩 合資會社

(側部券代用は一節増の事)

野口商會

UC 614







































今後の指針を決定

專賣特許 窗用新露登錄濟 は是非高血壓の豫防に御使用あれを酷使する方、お酒を召上る方等常に健康保持を望まるゝ方、頭腦 故!連鎖式不老陶枕は

在來の陶枕の鉄麟は完全に除去された醫學的、物理學的に研究された結晶

絶讃を受けるか?

翻

元十回総等中市で高 東京 ・一九三番

しる神助ける神

銃後後接强

非量は方なんこ

溢 血、心悸 亢進の人經衰弱、ヒステリーに悩む人

₩.²

墜、不眠症に惱む人

衣 笠 産婦人科

医学婦士 灰豆 茂 5±5912

血壓亢進で苦しむ人

慰問

鳴り、蓄腦症で困る人

京日案內

大日本組物研究合館涌支が城府大和町三ノ一〇 品家庭用品はA女で開 のでも組める

痛、肩の凝りに苦しむ人

建鎖式だから

はんとうに

安眠が出來る

康な方でも……

を表示する。 を表示す。 を表示す。 を表示す。 を表示す。 を表示す。 を表示す。 を表示す。 を表示す。 を表示す。 を表示す。

拾つた河豚で死んた屑屋

冷い醫生、親切な隣

◇連 鎖 式 だから在来の園形陶枕の映路 は完全に除去されて居ます。 の換熱変制が施してありますから常に の放熱変制が施してありますから常に のた熱変関が施してありますから常に 大阪市西辺川城城島町 大阪市西辺川城城島町 西話編島 三二八四番 **製造兒 丸金金網株式會社** 不老讀本概

能: 本 吉田東道丸 開催! 子収資 京城順町一丁目 開催! 子収資 京城順町一丁目

(製品に関しては弊れが全市生)

新 () 東京 大阪 () 東京 () 東京 大阪 () 東

問門

代理店 京城南大門通 新井

大 藥

曾計事務員二名採用

タイ

证募

排秋

市大 生水頭、窓庭芸術其中公所 京城帝國大學原生調

※ 計画主題原動特要本人面談 語 寄は自筆型原動特要本人面談 題 寄 入 日 で本二八九市



戦傷も忘れ

これこんなに元氣です

絶やすな銃後の熱

おもふは戦塵の巷 で、なつかしい感の一てつきれ『神の井戸』

2全國一齊に實施される 銃後々接頭化役後國民が感謝の結晶を捧げて 五日かの蝦鹿者が極端されて守くのだ―― 誰へよ傳系!

ジまくら82 日

府庫の詔書奉讀式

他八ヶ所で将棋事人の平面

きいかが

A

事選並に出征将兵の武器長

院長々被職化週間第一日の

けさ八時

日京城府では午寅八時サ

京城の傳染病級計

八トンの帆船『海の放浪兒』

見ン事。太平洋横斷

ロスアンゼルス間四十八百選の荒浪を入す。「日間で突破し三日月半太平洋の荒浪と戦いこから濃濱の旅を観けてゐたが、抗海

事り、日がか毎日選階の**給**ばか

傷痍軍人記章

明著

四大判五十官即手代用列

大神水丁

ける傳養式

既に描きあげて勇士の事に渡つ窓味から一人残らず贈る積りで

温陽の愛國挿話

名所は、野瀬とでも

京城憲兵分隊の窓口に

床しき匿名の献金

何でも來い!



神宮競技拳闘

李敦惠(K 〇)李剛山 (ウェルター教) 建保原 (対 定) 東保原 (対 定) 東保原 (対 定) 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東 () 東

壯削 極的 産トニクム Т. ф

VIKURA

(集選督明設)

上の一部のでは、10年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1年、19月1

|常]|である―昭青が石家||総(倉時は西條第)の韓川伍長||低も果して山西を包て〇〇基市段線で拾った「栗岡平||出を信しんでゐた〇〇峰で〇〇番||河北井||常を韓敬、兵命線を示する。 强い强い半島銃後の感銘

けふの天氣

近入 七圓八〇銭 五〇瓦 二圓五〇銭

獎請設質元

姆山市紙层町

全師有名圖店に回賓す

商

店

^{醫學博士}德 永 西川門町4丁(裁判所東通) 電話(光)1960街

定) 高大郡

茅岬町交叉圏 富久屋出版部②

前途益必有望

が発来として一種づいがで同つて小力で開ると 一本。な情の思想する「割を強化・大力で用ると 一本。な情の思想する「割を強化・大力で用ると に各其地方の材料にて深入が開設に製造する事 が出版るのであります。然も其製品は流程にて 一手に引受けます。気は高速を求める部方は、 生気は低いる場合であります。の表別書はります。 東京市役革風吸入町一七 日本割箸工業所 **德永小兒科**

法人登記公告

「左方法で一萬國を得るにはどうしたらよい党・年數十割の利殖實例・資金十倍活用法・党・中數十割の利殖實例・資金十倍活用法・勢に心せよ・金の働かせ方・投資の比較對の信條・貯める事と強や十事の相違監・利の信條・強

商業登記公告

の方法に就いて質例十數種を舉げて詳述の方法に就いて質例十數種を集けて詳述を認めのみで成功した人は一人もない。本定期のみで成功した人は一人もない。本院がは、只換然と金を儲けたいと言いてはない、只換然と金を儲けたいと言いではない。只換然と金を儲けたいと言います。

儲削殖の早道

ロダ歯科

近三点 麻疹病 电断木角(2)八八三一番(食皂用)京城岩草町大通り着飢被入。财路

持病





式節鉄清洁機 铁条荷絕对防止 代理庁湯澤商店

神哉講習録

洋裁手襲なら何ても解る



宇野醫

院



油つて、お招きは年後の一時の

茅

段

朴 松

勝本

に使り自己士の死命に割せられた

はない。 勿論目 『はノ言』の打』

機様である事は論を終たないが、

E

晝の部

田郷 22 (東) で整要 (東) で変更 (東) ラデオ防門 (東) 昨報 (東) で整要 (ボス・グ・ガリー

「称二」唱歌順・加売太郎?
「本二」唱歌順・加売太郎?
・〇〇(東)小巫金の時間

新作品のであった。 三・二〇(東) 改師の時間 新算 新作品のできました。 ・四〇(東) 母の時間 " 学供と

・ 一・ 〇〇 (東) 小型年の時間 「味 頭・釜山・裸里) 雪経綿物(ni) 要 詳 明 要 詳 明 大」お話と劇の空中戦の 東京即隨研究會

(東京)一、齊唱 傷捉の勇士 at 保 (東京)一、齊唱 傷捉の勇士 at 保 (東京) 有唱と音唱 t

九・1〇(或)刻多度報 七・1〇(或)列李左の時間「全 一般中)の極生の時間「全 一般中)の極生の時間「全

七・OO(東)時報・今日の天氣 大・IIO(東)支那語語連 大・IIO(東)支那語語連

一、挨拶 施工大船 茶內 先政 一、挨拶 聯節大雅 极短征四郎

、請演 蘇後後提彈化週間に

朝の部

ポロデイン作曲

第一放送

すが、これは違三新羅時代、王女に も主たる節句となされてるます。 この数タをまたが作日とも云ひす

から、つまり野断数安の和東日と **せこでこの日は男女君少莉次に**預 日露職役、旅風攻開題に重傷を員

直後こで歴長銀治屋とよばれて大一のて常馬と英に咀狐する長腕さんい、両腕を失くした覇龍登は戦争一器に入々から『高龍な々』と差ら

○年三二十二百巻の製画でする (五) 陸精小學唱歌 (五) 陸精小學唱歌 (ロ) 招類豪 おのうち (三華金) 一子やが、この目の最も重要だって

大・五五(記)カレントトピックス は、土・三〇(東) 鉄茂後投煙化大路 でも・三〇(東) 鉄茂後投煙化大路 でも・三〇(東) 鉄茂後投煙化大路 で 六·二五 趣味精賞 ・二五 錦旗(海津)時間下に 放館北市豊村扱興館長 (平職) 料の 智順 智順 智順 車并 跳其 大・〇〇 合唱

日 五.

大・二五(統) 藤微 秋夕と年大・二〇(座)コドモの新聞

私 午後一・一五 家庭の時間(三) 第一 放 送

右門領略帖より《謎の八卦見》 中 非 市 育 店

者も深山出したが、島よ続後々援

の爲に盡して心たところ、

朝鮮みやけの御用は

たに 斉唱 雄猫会戦 かく

(二) 獨唱 東洋の子供 朝日 身枝 (入蔵)

れたやうに開墾めた斑をした。真

こと一週間の樂しみる、娘げら

便吉は使みかけてゐた。 「またか、何ぢや」

「今日の食肚でのお話ですがね

『質は、今度作も大胆さんと共同』「行きたくないといふのか」

たが、すぐ耕砂子の斑る思ひだか

一般、折入つてお願ひがあるので

どは恋り傾倒してしまるその

(イ) 類唱 忠助風 (ロ) 類唱 忠助風 (ロ) 類唱 兵隊からが通る (ビアノ件楽 楽原 質邱

ス・〇〇〈東〉ピアノ獨奏 ク お馬の英級 小野 直

直 り、軍人 磐砕さも つて綴ての人

の工事を経昏していつた。総月流 聖五ヶ條の総群を合唱させ、

五て冊年、発信造はじめ多くの田

京城府元町一丁目

岡內科醫院

に耆妲して前一番の鑑工所主とな

年編一・〇〇(東)知見の時間 | 名野 | があるのだ字と聴きし版 | 年編 | 一まの | 東東につじき(東)新 | ピッチに(ラと夏番の定義はてい | 正午(東)時報につじき(東)新 | ピッチに(ラと夏番の定義はてい | とまい | であっている | ではないる | ではないる | であっている | であっている | ではないる |

に向って過ぎうとしてるよ。残っしりるお話致したいと存じますとかり技験をやり乍ら一つの理想して硬ひた菅首製の男ましい観き探

りをお話致したいと存じます

国人应言思想的 北部門司及武行 給船

器上清酢

0

誤で、大器は兩腿

黄育県に置い発持で送する岩上言

主人のためにたうとう死を以

「一度大泉に建つてみろ、お繭な

水野は、はつとして父を見上げ

の音は、突然入ってきた水野を「蒙りたいのです」 見ると、色質に脳をよせて振向い「「何歳……・」 「何歳……・」

【禁無斷上演映畵化

話で返事をしておいたから、今更

メヌエット舞曲 ギツ

「とにかく、明後日の招待は、電

良 夫 畵

作

さな感情問題など特出す術がなか総数の信頼を知ると、特种子の小

水野は父の大臣に置する、この

三郎を描いて伸にないんだぞり

2017年度 | 九・IO 野菜 要 店 11 (12年年) | 大・IIO 期間 (11) 企 聖 相 (12年年) | 大・IIO 期間 (11) を 理 相 (11) を 理 相 (12年年) | 大・IIO 期間 (11) を 理 (12年年) | 大・IIO 期間 (11) を (12

ミバタタリ駐文がたくたつてしま

つた。大いに遊戲して自選所を飲

『菅青鷺』といる軍島と戦地で行いふるちさんがゐた、村上さんけ

商船出帆

天宣祭

特 存 改 此

いた同様されたが、それも二三年一の一縁があった、その中に村上と

本歌 オ・(() 初歩阿腊

講教タと省墓の話 【後六・三五】

すからとりわけの対にとつては最 の思想文化を戴ひ得る様に整へまのんのり豊富にほしえましき粉で すが、この省路を通して朝鮮古来 山口和葉に月もかむで、絶好学、 かへると云ふことであります。こ 又は四大名節の一に数へ頃は中秋 L 父母離先と和葉の一時を過して | 茶炉の労害こ、に融心られて作物 | の脳はありを省基と云つて居りま たいと存じます。 智

雕かであつた。それに異をうたれ幸と輝かせ再生の帝望に燃えむは

軍人由田吉郎は手押車に乗り職友 ふ。 農が冊手前と建つてその信提 肢 4 を失った男士山田にめぐりる

盛識した整雄造は各て競場で兩蛇

ふ雨跳にも比すべき人間を失つた

が、その代りに御兵山田、

輝く傷痍記章

(茂九時) 梅原秀夫

昨年の寒、角なの脈頭を絨色の熱 ・ un 追 戰線重話 [五八時] お馬の萬歳

を得ることが出来た。と云ふ英談 集內所守城三中井二安東大和橋

京城市次門通二丁月二二 電話本局2 〇三〇 内科一般特昌 呼吸器、心臓、 五光朝 醫學排士

● 英數國漢地歷 經 經 第 1

京城永興町

學師士 佐藤小五郎

露鰓伊川出張所

方族與東大門出張所有照新統領中,月出張所 十萬八明和新等命人用和七日聯任計解療法人普波等門為發體更理事指

商業登記公告

右門別於器平人月或於成日登開 行用能力所則一個下地與ス 可以能力所則一個下地與ス 法人登記公告

朝鲜郵船定期仁川田帆

電話したので

法人登記公告

有明明社 所で会計別は新産県行業で がなる計別は新産県行業で 対別なるでいない。 では、大阪が のかれるがでする。 のかれるがでする。 のかれるがでする。 のかれるがでする。 のかれるができる。 のかれるができる。 のかれるができる。

商業登記公告

社会 含地 即報 原 市 近 〇 田 床 给金 人 全地 即報 原 市 近 一 〇 田 床 给金 人 九 見 加 名 市 元 代 市 別 多 市 位 恵 元 人 下 見 東 元 人 下 見 東 元 人 下 見 東 元 人 下 見 東 元 人 下 見 東 元 人 下 見 東 元 イ 正 介 冬 回 情 買 元 即 。 元 下 三 元 允 加 八 多 子 川 商業登記公告 **蘇殿井邑支廳**

朝鮮運送株式會社 公 南 大 南 大 田 忠 南 太

ののでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一

+

0

6

9@

*****©Œ

水野は爻の安田祭に触かされて

『ちゃ、お那種しますかな……』 置に落治くと考へ用した。

してふる。それは勿論、事業の

とが、二人の娘の題のこでうた、 さう概へると、父ばかりでなく 耕絶子等姉妹が仇礙のやろに バックに近づくと

は、天に左逢る関ふ掛合體の六八

がねばならねからである。

六八で「た!士四」に受けるの

一のである。前日なりず勝率に支

それ様中央を地にする事は困難

は無味がないと云はれてる。

マに受けたのは、この場合に度し

観戦記一等の変に

○こ丸に對して黒ボスと大ケイ

亦自 でい」をでる」 なら黒 でい 白「は」といて活路になく

し決して自の提派とは云へない。 であるが、黒七丁を踏し左ゑを織ー・白

白局勢を單純化す 古は中央を大きく纏めんとす

Ø

美 は

健

康

徴

w

清澄な球は空気が乾燥 手入

を 別語 が カ

をお忘れなく

アレを防

肌整の性女時

京 東 舗 本 料 放化トーレ 店商平費尾平